

1	会議名	令和7年 第14回教育委員会会議 会議録	
2	開催日時	令和7年12月18日(木) 午前10時～午前10時50分	
3	開催場所	岩国市民文化会館 第1研修室	
4	出席委員	教育長 守山 敏晴 委員 村尾 利勝、渡邊 博明、岡田 淳子、岡崎 陽子	
5	欠席委員	なし	
6	会議出席者	教育次長 : 賀屋 和夫 教育政策課長 : 村重 武志 教育政策課 英語教育推進室長 : 藤本 佐祐里 学校教育課長 : 五郎丸 哲也 学校教育課主幹 : 松本 哲也 青少年課長 教育センター所長兼務 : 植田 明男 生涯学習課長 中央公民館長兼務 : 河本 葉子 中央図書館長 : 藤中 朗子 科学センター館長 : 大黒屋 誠 由宇支所長 : 山本 英裕 周東支所長 : 中村 洋一 錦支所長 : 常国 良徳 美和支所長 : 藤中 峰雄	
7	会議従事職員	教育政策課 : 山本 祥寛、廣本 菜穂美	
8	会議録署名委員	村尾 利勝、岡崎 陽子	
9	議事日程		
	日程第1	会議録署名委員の指名について	
	日程第2	報告第16号	所管事項について
	会議の概要		
	教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいまから、令和7年第14回岩国市教育委員会会議を開会します。 ・それでは、日程第1会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員は、村尾委員と岡崎委員にお願いします。 ・本日の議題は、お手元に配布した資料のとおりとなります。 ・それでは、日程第2「報告第16号 所管事項について」を議題といたします。これにつきましては、協議会形式で進めたいと思います。各担当部署から先に配布しております行事予定表について、補足又は所管事項に関する懸案事項があれば説明をお願いします。 	
	由宇支所長	<ul style="list-style-type: none"> ・11月15日(土)に由西小学校グラウンドで開催しました「ツリークライミング体験会」について、開催日の前々日までに44人の申し込みをいただきましたが、インフルエンザの流行により、多数キャンセルが発生しました。しかしながら、当日は麻里布、平田、川下、灘、玖珂小学校などからも参加いただいて、23人の子供たちがツリークライミングを楽しみました。「また是非開催してほしい」という声もいただきました。 	
	周東支所長	<ul style="list-style-type: none"> ・1月17日(土)に開催予定の地域文化講演会ですが、こちらは支所管内の5つの施設を順番に回っていく事業となります。今年は周東パストラルホールでの開催となり、周東支所が担当しますが、岩国市合併20周年というこ 	

<p>錦支所長</p>	<p>とで、記念事業も兼ねて行っております。今回はテレビでおなじみの茂木健一郎先生にお越しいただいて、「脳を磨く生活術」と題し、お話しいただくことになっています。おかげさまで、昨日チケットが完売しました。25日に実行委員会が行われますが、良い形でお迎えできるよう、準備を進めていきたいと思っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美川カレッジでは、11月28日（金）に「音楽と絵本のセラピー」という内容で、初めて夜間に講座を開催しました。夜間ということで、参加者が集まらないのではないかと心配していましたが、参加された皆様からは「いつもとは違った雰囲気の中でピアノの演奏と絵本の読み聞かせを楽しめた」「来年度は夏など暖かい季節の夜にやるのも良いのでは」などといったご意見をいただきました。 ・錦では毎年11月に生涯学習作品展を開催していましたが、今年は会場の錦ふるさとセンターが大ホールの天井改修工事に入っているため、年明け3月頃に規模を縮小して行う予定です。
<p>美和支所長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・11月6日（木）にハーモニーみわで玖北地区小学校音楽会が開催されました。当日は、錦清流小、宇佐川小、本郷小、美和小の4校が参加し、日頃の練習の成果を発表しました。地域で活躍するコーラスグループ・コールレインボーさんも出演され、児童との交流を図りました。 ・11月30日（日）には本郷にて山代神楽共演大会が開催され、本郷山村留学センターの子供たちは、「八岐乃大蛇」を披露しました。大蛇が火を吹く瞬間や、クライマックスの首を斬るシーンでは、会場から拍手が沸き起こりました。
<p>学校教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期もあと1週間足らずとなりましたが、危機管理について2件ほどご報告します。1件目はセアカゴケグモの発生についてです。昨日、定期的な確認ということで県と市で東小に調査に入りましたところ、校舎南側で6匹発見されております。やはり、暖かい場所で発生する傾向にあるようです。発生時には、市内全体に注意喚起を行いました。市内のほかの学校からの報告はございません。引き続き、定期的に、このような検査等もしながら対応していきたいと考えています。 ・2件目は、これから大雪、凍結のシーズンに入りますので、怪我事故の防止、インフルエンザ等への組織的な対応について、注意喚起の文書を出しております。救急搬送時の対応やマニュアル、最悪を想定した迅速な対応などについて再度確認しているところです。特に、本市では小中一貫教育を進めておりますので、中学校区単位での判断や、小学校と中学校で保護者への連絡が行き違わないように、情報の共有をしっかりとるよう指導しています。
<p>青少年課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「SNSトラブル防止チェックリストの実施結果について」御説明します。このチェックリストは、子供たちが令和5年度の「いじめ問題子どもサミット」において、小学校版と中学校版を作成したものです。このリストに基づき、7月と11月の2回にわたり、タブレットを利用したアンケート調査を

市内全小中学校で実施しました。その結果について、本日は 10 項目のうち 6 項目の結果を御報告させていただきます。この結果は 7 月分の結果であり、小・中学校それぞれに共通して課題がある項目に触れたいと思います。まず 1 つ目ですが、「言いたいことは直接会って話している」という項目では、小中学校ともに 4 分の 3 がチェックをしていますが、チェックをしていない残りの 4 分の 1 の子供たちについては直接話していないと読み替えることができます。次に 2 つ目として「悪口を言っていない」、3 つ目として「自分の書いた文をもう 1 度確認している」についても、チェックをしていない子供たちが 4 分の 1 となっていました。これらの結果を踏まえ、今年度は中学校区ごとに「言葉によるいじめ防止に向けたミニサミット」を開催するよう依頼しており、小中学校ごとに、言葉によるいじめについて、子供だけではなく大人や先生方を交えた熟議を主に夏休み中に開催し、来年度の市全体を挙げてのサミットに向けて準備をしていただいている状況です。なお、11 月のアンケート結果につきましては本日御用意できませんでしたが、1 つ目から 3 つ目の数値に関して若干改善されていきました。ゼロに近づいているかといえばまだ不十分ですので、各学校において、SNS を使う上での言葉遣いや、悪口を言わないなど、人権感覚に基づいた正しい使い方やマナーについて、今後も継続して指導していく必要性を感じています。

生涯学習課長

・生涯学習課の 1 月の行事予定のうち、1 月 11 日（日）に開催する二十歳のつどいについて説明させていただきます。令和 8 年の二十歳のつどいは、テーマを「軌跡～ここから未来へ」とし、祝賀行事では、昨年と同様、恩師からのメッセージと、「強運を引き寄せるのは誰だ!？」と題した、30,000 円分の旅行券やデジタルカメラなどの賞品が当たる抽選会を実施いたします。また、今年度も、出席者本人のスマートフォン等で事前申込みから当日の入場受付までを行う入場受付システムを実施することとしています。昨年度、実施後のアンケートにおいて、出席者でアンケートに回答された方の 9 割が「アプリの操作はとても簡単だった」と回答していたことや、応援職員から「来場者数がリアルタイムで把握できるため、1 階席から 2 階席への誘導の切り替えなどのタイミングがスムーズに移行できた」などの意見があったことから、継続して実施することとしました。今回、実行委員は 13 人で全員が女性ですが、9 月から 12 月まで 5 回にわたり協議を重ね、当日に向けて一生懸命準備を進めてまいりました。当日は、ぜひ彼女たちの頑張りを温かく見届けていただければと思っています。当日は混雑が予想されますが、事故、トラブル等がないよう、しっかり対応してまいりますのでよろしくお願いいたします。

中央図書館長

・行事報告にも記載しておりますが、11 月 16 日（日）に中央図書館で児童文学作家のあんびるやすこさんの講演会を開催いたしました。あんびるさんの作品の「ルルとララ」のシリーズが今年 20 周年ということで、市の合併 20 周年と重なったこともあり、声をかけさせていただきました。また、講

<p>科学センター館長</p>	<p>演会の中で作品名を当てるクイズが出題されたのですが、子供たちが次々と回答していく姿に先生の作品を好きな想いが伝わってきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11月9日（日）に開催しました「青少年のための科学の祭典」について、今年度は、祭典の開始に合わせて科学漫画の映画上映を行い、合計806人の来場がありました。また、大島商船高等専門学校や川下中学校科学部、長州科学維新プロジェクトなど13団体に、昨年度と比較し、3ブース多い14ブースの出展をしていただきました。当日は、金網を両手で挟んで動かし、錯覚による感覚を体験したり、模型キットを使って地震の発生やメカニズム、揺れや液状化を学んだり、簡単モーターを作ったりと、来場した子供たちにそれぞれ科学を楽しく学んでもらいました。例年、安田女子中学・高等学校に、ブース出展に加えてボランティアとして会場整理や案内窓口を手伝っていただいていた混雑の解消に努めており、今年度もおおむねスムーズな運営ができたのではないかと考えています。
<p>教育政策課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11月の行事報告のうち、11月2日（日）えびす祭り「神輿担ぎ」について御紹介させていただきます。昨年7月に、PLAT ABCがつなぎ役となって、東地域で開催された土曜夜市に、軍の基地ボランティアの方に参加していただいたことをきっかけに、その後も、東地域との交流が続いています。今年も、昨年に引き続き、東地区で例年行われているえびす祭りに参加していただきました。新聞報道等もありましたが、今年10月にアメリカ政府の予算切れに伴い一部政府機関が閉鎖したことを受けて、在日米軍においても、予定されていた基地との交流イベントが次々と中止されていたこともあり、一時は参加が危ぶまれていましたが、そのような中でも、当日は11人の米軍の基地ボランティアの方に参加いただきました。当日は、地域の方から法被を借りて、事前に神輿の担ぎ方を教わり、また、PLAT ABCのスタッフから「わっしょい！」の語源について説明を受け、掛け声の練習をし、その後本番に臨みました。本番では、基地ボランティアが勇壮に神輿を担ぐ姿と日本語での「わっしょい！」の元気な掛け声に対して、観客や他の祭りの参加者からあたたかい拍手が寄せられました。参加した基地ボランティアの方々も、日本の文化を直接体験することができ、大変喜んでおられました。今後もこうした交流を継続していくことで、基地と地域との良好な関係を維持し、PLAT ABCの取組としても、基地側の「地域とつながりたい、日本を知りたい」という想いと、地域の方々の「地元をもっと盛り上げたい」という想いをつなげることで市全体にこうしたつながりを少しずつでも広げられるように努めていきたいと考えております。
<p>教育長 村尾委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体を通しまして、御意見・御質問がございましたらお願いします。 ・ 青少年課にお尋ねします。毎年、県下において不登校の人数は増えていますが、岩国市については減っていると先般お伺いしました。ステップアップルームは400人から500人規模の学校に導入されて、生徒に利用されています。現在は東、川下、岩国、平田の4校。平田については今年増えたのですね。

	<p>順調にステップアップルームの充実が図られていると思います。先日、川下中学校に行って、ある先生の指導を拝見しました。ほかの先生方に聞くと、その先生は子供のフォローアップが上手で、学習支援についても、悩み事の相談についても、一人一人を受け止めて、最後まで面倒を見るという姿勢で接しているそうです。そういう先生方がおられるから、ステップアップルームに行ってみようという気持ちが強まるのだと思いました。どこの学校も、ステップアップルームが盛況になっているということは、不登校が減るわけなので、大成功の取組だと思います。来年度、まだ大規模校が1校残っていますよね。麻里布中学校ですね。このあたり、ぜひ進めていただきたいです。そうすると、学校に行って悩み事を相談してみようとか、行けたらクラスに入りたいという気持ちになるとか、そうした子供が増えてくると思うのですが、どうですか。</p>
<p>青少年課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップルームについては、不登校の減少に大きく貢献してくれていると思っています。市内においては、中・大規模校で見ると残っているのは麻里布中学校なので、学校教育課長とも調整しながら、県教委に対して、次年度、ステップアップルームの配置校を市としてもう1校増やしてもらえるように交渉しているところです。併せて、専属教員の配置はありませんが、市内の多くの小中学校で、心の支援員や学校の先生が空き時間に空き教室を利用し、校内の教育支援センターという形で、子供たちの教室復帰を後押ししている状況もございます。 ・1学期末現在、4校でステップアップルームの利用をしている生徒が35人おり、そのうち、約3分の1の12人が教室復帰をしています。この結果からも、効果としては大きいと思っておりますので、中学校はもとより、不登校が低年齢化していることもありますので、小学校の大規模校にも配置できれば良いのかなと考えています。
<p>村尾委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・試行という形でやってみて、今のような効果が上がれば、いわゆる不登校が減る要因にはなると思います。 ・川下小学校で、少人数指導が導入された4年生の授業を見学しました。1クラス30人を超えるくらいですが、その人数を半分に分けて指導するのはどうなのか校長先生に尋ねてみたところ、一人一人がきめ細かな授業を受けることができるので、今まではお客様感覚で授業に臨んでいた子供も、当てられるから参加しないといけないという意識が高まり、授業の積極性が増して、子供にとっては効果的な授業につながってきていると言われていました。少人数指導については、復活しているのですか。
<p>学校教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数の加配を活用し、能力別も少し視野に入れながら授業をされているように感じます。加えて、川下中学校区においては、小中一貫教育加配で中学校の教員が小学校に入って指導しており、一人一人を大切に授業が充実しています。臨時の校長会でも、実働的に動いている所に加配をつけると明言しました。成果を上げるために県にも加配の要求をしつつ、実際に加配を

<p>村尾委員</p>	<p>つけた学校には結果を出してもらうよう、指導を進めているところです。子供の学習意欲にもつながりますので、子供たちが生き生きと学習活動に取り組めるように、市教委としては、体制作りをしっかりと指導していきたいと思ひます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去には、学力向上に寄与するために、加配を用いた時期がありました。少人数指導についても充実を図ろうと、加配をどんどん行ってきたわけです。ただ、全国学力学習状況調査の結果を見て、教員の指導力不足ということで、指導教員の加配を上げるために、少人数指導が削られてきた経緯があります。子供一人一人の充実度を図るためには、ある程度少人数指導のほうが授業の効率化が図れると思ひます。今の指導の方向性がどちらに向いているか分かりませんが、子供たちのために、少人数指導の加配をとっていただきたいと思ひます。
<p>渡邊委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・11月26日に灘中学校の授業研究発表会に参加しました。灘中学校区での小中連携について先生方が有意義な協議をされていて、各学校において、小中連携が活性化してきているのを実感しました。小学校の先生方も、卒業生が中学校で頑張っている姿に感銘を受けたと言われていましたし、つながりが強くなって、生徒たちに、より愛情を注いでいただければと思ひます。 ・先日、ペリースクールと下松市の華陵高校が姉妹校協定を結んだと聞きました。ペリースクールは岩国に住んでいてもなかなか交流が持てない印象ですが、市外の高校と交流をされているということですので、できればPLATABCでもペリースクールの生徒と市内の中高生などが交流できるような固定的なイベントを行うなど、コネクションのようなものが設けられれば良いと思ひます。子供たちにとっても、生の英会話に触れることのできる機会は貴重ですし、ペリースクールの生徒たちも外部交流の機会がほとんどないと聞きますので、PLATABCで交流の場を設けていただければと思ひます。
<p>生涯学習課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館と科学センターは新しい施設の形がほぼ出来上がっていると思うのですが、今一度、オープンまでのスケジュール的なものを教えてください。 ・中央公民館につきましては、条例提案時に御説明させていただいたとおり、6月1日から供用開始予定ということで、現在、着々と準備を進めているところです。1月に入ってから、外構工事や植栽工事を進めてまいりまして、今年度末には施設が完成する予定です。4月に備品搬入と引越し作業等を行い、落成式については5月31日頃の予定で進めています。
<p>科学センター館長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・科学センターについてですが、オープニングは4月中下旬を予定しております。建物は12月中に完成予定で、現在検査をしている状況です。外構工事を含めた全体の完成は、今年度3月末予定で、いずれも遅れ等なく予定通り進んでいる状況です。科学センターの展示内容につきましては、最終案が出来上がりましたので、工場製作を進めているところです。こちらにつきましても、特に遅れ等はございません。

岡崎委員	<ul style="list-style-type: none"> ・11月26日に通津小学校で行われた授業研究発表会に参加しました。学校全体で取り組まれている様子が非常に良く、先生方ものびのびと授業をされており、子供たちも意欲的に取り組んでいてとても感銘を受けました。1番印象に残ったのは、授業支援アプリを上手に活用して、子供たちの意欲を引き出す授業をしていたことですが、これは子供たちが意欲や好奇心を持っていてこそそのツールだと感じました。意欲がなければ、「人の意見を見て書いておけばいいや」みたいなことになりかねないと思うのですが、授業ではそういう雰囲気は感じませんでしたし、小学校の段階では、まだ言葉にしたり表現したりするのが難しい子供たちが多いと思うのですが、そういう子供たちが、人の意見を見ながら、「こういう風を書けば良いのか」ということを学んでいける方法は、今まで自分が経験したことのない新しいやり方で期待が持てました。 ・青少年課の「言葉によるいじめ防止ミニサミット」というのは、もう開催されていますか。
青少年課長	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の校区ごとに、今年度中に何らかの形で行った上で、来年度の本サミットに臨んでほしいと依頼しています。多くの学校は、夏休みを中心に、子供たちが集まりやすい日程で行っているようです。
岡崎委員 青少年課長	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な内容は決まっていますか。 ・そこまでは把握できていませんが、「言葉によるいじめ防止」をテーマに実施するよう伝えていきます。
岡崎委員	<ul style="list-style-type: none"> ・リストの中の悪口についての項目ですが、悪口は自分では言ったつもりがなくても相手の受け止め方で変わってくる部分もあると思います。トラブルはそういった面から起こりがちだと思うので、子供たちがそうしたことに気付けるような工夫があると良いですね。設問は子供たちが考えたのですか。
青少年課長	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、このチェックリストは子供たちが作りました。
岡崎委員	<ul style="list-style-type: none"> ・文字だとニュアンスが伝わりにくく、ざっくりしすぎているようにも思います。そこを緩めたら数値的にも上がってきってしまうかもしれませんが、大事な部分ですので、何かしらの工夫ができればと思います。
青少年課長	<ul style="list-style-type: none"> ・大人も子供も同じですが、対面での会話とは違い、文字のやり取りはとても恐ろしい部分があります。よく言われるのが、「これ可愛くない？」という文章も、「？」をつけるかつけないかだけで、否定されているのか、問いかけているのか、ニュアンス的なものがどうしても伝わりにくいので、そういった面からも自分の書いた文章をもう一回確認して送信するように学校も指導しているところです。
岡崎委員	<ul style="list-style-type: none"> ・そういった具体的な例も子供たちに共有しながら、しっかり伝わるようお願いします。 ・次に、セアカゴケグモを最初に発見した状況を教えてください。先生が発見されたのですか。
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が見つけて、先生に報告し、教育委員会に連絡がありました。

<p>岡崎委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさ的には本当に小さい蜘蛛で、毒性はありますが、自分から向かってくる特性はありません。この度は、東小学校の南側で見つかったのですが、日がよく当たる場所でした。
<p>岡田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発生しているという情報がない中で、よく見つけられたなと思いました。けががなく良かったです。 ・各支所の行事報告を拝見して、1年の中で1番実り多き時期ということもあり、工夫された事業の数々に感心しました。社会教育は、大人や子供が集まりやすい夜や土日に実施されがちなので、大変ご苦勞も多いと思いますが、先ほどの「音楽と絵本のセラピー」など、いつもとは違う非日常を味わう機会として非常に大事な部分だと感じました。各支所で本年度の成果と課題、事業検証をされるとと思いますが、自信をもって提供した事業に人が集まらなかった場合、その理由までしっかり検証していただきたいと思います。場合によっては事業の見直しも必要ですし、新しい発想で新規事業を開拓することも大事になってきます。その事業が始まったときには、必ず夢や志があったと思います。そのことを探り込んで、どういう形で変化させていくか、形は変えても志は変えないということで、良いものは残していくという事業展開が戦略として非常に大事になってくると思います。学校もまさにそうで、その月が来たら当たり前のように行っている行事が多くありますが、それが本当に良いものかどうか探る必要はあると思います。 ・もう1点、青少年課のいじめ問題対策サイクルプランについて、子供たちを集めていじめについて話し合うことは、とても尊いことだと思いますし、青少年課・教育センターという部署が独立している岩国市だからこそその専門性の強みだと思い、非常に感心しているところです。特に、トラブル防止チェックリストの項目を子供たちが考えて、言葉遣いに気をつけるとか、自分の言葉に責任を持つとか、書いた文章は消せないということが、子供たちから出てきていることが素晴らしいと思います。わが校でも是非真似してやってみたいと思いました。
<p>教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者にも、これを見てほしいと思います。これからは、子供もですが、大人も一緒に考えていく話し合いが必要だと思っています。項目を考えるときに、大人も交えて熟議をするなど、多くのヒントをいただいた資料でした。 ・別のないようでしたら、以上で報告第16号を終わります。
<p>教育政策課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の議題は以上でございます。次回の教育委員会会議の日程について、事務局から説明をお願いします。 ・次回定例会は、令和8年1月20日（火）、岩国市役所本庁2階 特別会議室において、14時から所属長会議を、14時30分から教育委員会会議を開催いたします。
<p>教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・以上をもちまして、令和7年第14回岩国市教育委員会会議を終了いたします。

岩国市教育委員会会議規則第 16 条の規定により署名する。

教育長 守山 敏晴

教育委員 村尾 利勝

教育委員 岡崎 陽子